

『奈良市環境学習プログラム』

受講者募集！

奈良市では、環境に関する知識を持った「環境教育推進員」を講師とした様々なプログラムを用意しています！

➤ プログラム例

- ・自然を観察したり、実際に自然とふれ合ったりするプログラム（全49種）
- ・水環境や大気環境についてのプログラム（全8種）
- ・ごみの減量、資源のリサイクルについてのプログラム（全12種）
- ・地球温暖化対策や省エネルギーについてのプログラム（全29種）
- ・外来生物や食育などに関するプログラム（全12種）

➤ 講師一覧、プログラムの詳細は、市ホームページをご覧ください！



講師一覧



プログラム一覧

◆ 申し込み、実施までの流れ

1. 奈良市環境政策課へ申込書を郵送、FAX、メール等で提出してください。
2. プログラム担当講師から依頼主へ連絡しますので、詳細をご相談ください。
※講師料等の経費は、各プログラムの講師と個別にご相談をお願いします。
3. プログラムを実施した後は、アンケートを提出してください。

地域での活動、催し物に
ぜひご活用ください！



申し込み・問い合わせ先：奈良市環境政策課

TEL：0742-34-4591 FAX：0742-36-5466

E-Mail：kankyoseisaku@city.nara.lg.jp

奈良市環境学習プログラム申込書・実施確定書

【申込書】

※お申込は、太枠内に記入し、環境政策課へお送りください。プログラム講師よりご連絡いたします。

実施日	第1希望	平成	年	月	日()	時	～	時
	第2希望	平成	年	月	日()	時	～	時
希望するプログラム	No.()							
申込者(団体名)								
担当責任者								
住所	〒()							
電話					FAX			
メール								
受講対象者(年代、学年など)						人数	人	
実施場所(部屋など)								

【実施確定書】

※実施日等が決まれば、プログラム講師が下欄を記入し、環境政策課へ提出してください。

実施日	平成	年	月	日()	時	分～	時	分
プログラム名	No.()							
実施責任者								
費用	有()	円)	・	無			

◆◆奈良市環境政策課◆◆

TEL:0742-34-4591 FAX:0742-36-5466

メール:kankyoseisaku@city.nara.lg.jp

環境学習プログラム一覧

自然環境(自然観察・自然体験)		講師名
	<自然観察>	
1-1	【自然を守るにはー水田・小川・ため池編ー】1すんでいる生き物を学ぶ	中川 亜希子
1-2	【自然を守るにはー水田・小川・ため池編ー】2なぜ生き物を守るのか・どうやって守るのか	
1-3	【自然を守るにはー水田・小川・ため池編ー】3生き物を守る技術	
1-4	【自然を守るにはー雑木林編ー】1すんでいる生き物を学ぶ	
1-5	【自然を守るにはー雑木林編ー】2なぜ生き物を守るのか・どうやって守るのか	
1-6	【自然を守るにはー雑木林編ー】3生き物を守る技術	
1-7	市街地の自然観察	清水 順子
1-8	身近な木ってどんな木？	藤田 昂大
1-9	プールに生息するトンボの幼虫の救出と生き物の観察をしよう	谷 幸三
1-10	学校ビオトープの作成と生き物を観察してみよう	
1-11	水田の生き物を観察しよう	
1-12	校庭の樹木を観察しよう(奈良公園や近くの公園や社寺林でも可能)	
1-13	バタフライガーデンの花と昆虫の関係を観察してみよう	
1-14	春の野草の名前を調べてみよう	
1-15	野鳥と自然環境とのかかわりを観察してみよう	
1-16	紅葉の仕組みや葉の形やドングリ等の果実の観察をして種子の運搬についても考えよう	
1-17	平城宮跡の野草とバッタと野鳥の観察をしよう	
1-18	身近な自然を体験しよう！	北野 絵理
1-19	森へ行こう、自然と仲良しになろう	川崎 眞弘
1-20	森や山、身近にある公園、校庭で自然観察をしてみよう	柴垣 宗範
1-21	花や野菜を種やさし木から育てよう！	川辺 恵美子
1-22	矢田山遊びの森で自然観察をし、木や竹のクラフトづくりをしよう	辰己 芳利
1-23	田んぼの中の生き物のつながり	駒 和磨
1-24	なら自然探検隊	中田 依里
1-25	守ろう日本の淡水魚！	細谷 和海
1-26	ブラックバスを退治する！	
1-27	里山の観察会(食育も含む)	岡本 胤継
1-28	森のムツレ教室	三宅 基之
1-29	奈良エコミュゼ創造プロジェクト	
	<自然体験>	
2-1	わくわく蝶査隊	道端 慶太郎
2-2	ネイチャーゲームで自然体験	仲野 英明
2-3	レクリエーションとネイチャーゲーム	
2-4	竹の間伐と竹工作	境 寛
2-5	自然工作	
2-6	奈良公園・飛火野で自然の宝物を探そう	宇野 哲
2-7	奈良公園の自然を観察しよう	谷 幸三
2-8	森林の大切さを学び、その恵みを楽しもう	岡本 治男
2-9	木の実、木の枝、竹を使った木エクラフト	鈴木 秀位
2-10	自然の中でネイチャーゲームして遊びましょう	柴垣 宗範
2-11	原木しいたけの植菌体験教室	川辺 恵美子
2-12	稲作体験(田植え、除草、稲刈り、脱穀)	井上 雅由
2-13	自然があぶない	中田 依里
2-14	ネイチャクラフト	岡本 胤継
2-15	公園で行うネイチャーゲーム	
2-16	ネイチャーゲームで自然体験	山本 素世
2-17	自然について楽しく学ぼう(プロジェクトワイルド)	
2-18	水と生き物、暮らしについて楽しく学ぼう(プロジェクトウェット)	
2-19	だっちゅ村でネイチャーキャンプ	
2-20	里山保全の体験教室	北浦 由香
水環境・大気環境		講師名
3-1	簡易専用水道から水環境を考える	大橋 篤
3-2	秋篠川の生き物調べ	藤田 昂大
3-3	奈良市の川に生息する水生生物と水質の調査をしよう	谷 幸三
3-4	「大気の汚染・水の汚染」と私たちの暮らし	川辺 恵美子
3-5	水田に棲む生き物たちに会いに行こう♪	中村 あづ紗
3-6	奈良市の河川で魚類調査！	
3-7	水辺のいきものたち	中田 依里
3-8	水辺の環境教育 PWET	岡本 胤継

ごみ・資源循環		講師名
	<ごみ・一般向け>	
4-1	「奈良市の家庭ごみ」の出し方・分け方	千葉 佳一
4-2	家庭でできるごみ減量方法	瀧川 潔
4-3	廃棄物処理法について考える	西野 保
4-4	家庭でできる生ごみ減量方法	吉田 征八郎
4-5	できた肥料の活用方法	
4-6	ゴミのゆくえを探ろう	北浦 由香
	<ごみ・企業向け>	
4-7	事業系一般廃棄物及び産業廃棄物の排出事業者責任と適正処理について	千葉 佳一
4-8	企業の廃棄物対策	
	<資源循環>	
5-1	靴下のリサイクル作品をつくろう！	川辺恵美子
5-2	“台所からのエコロジー”～食をみなおしませんか～	宮本郁江
5-3	“紙のもったいない”～古紙工作を楽しみましょう～	
5-4	“環境の5R”を進めましょう	

地球環境・エネルギー		講師名
	<地球環境>	
6-1	環境とエネルギーについて考える	瀧川 潔
6-2	「フードマイレージゲーム」～食から考える地球温暖化防止	清水 順子
6-3	自然放射線の観察～霧箱で放射線の飛跡を見よう～	大橋 篤
6-4	ビルの仕組み	
6-5	私たちの暮らしと地球温暖化～IPCC AR5から～	大塚 徹
6-6	未来の地球と私たちの暮らし～IPCC AR5から～	
6-7	地球46億円	
6-8	環境って何？	北野 絵理
6-9	地球環境と日常生活	福島 茂男
6-10	このままだとマズイ！地球温暖化	河野 元昭
6-11	環境保全、環境改善のための管理方法	井上 雅由
6-12	地球温暖化と私の生活	
6-13	地球温暖化について	北浦 由香
6-14	地球温暖化についてとワークショップ(ものづくり)	
6-15	森林の役割	黒飛 啓
6-16	菜の花エコプロジェクト	
	<エネルギー>	
7-1	企業の省エネ対策	千葉 佳一
7-2	自然エネルギーをもっと身近に～市民共同発電の取り組み～	清水 順子
7-3	ノーベル賞研究成果でストップ温暖化	大塚 徹
7-4	どれだけ使っているの？電気やガス。料金票から「省エネ」を考えよう	河野 元昭
7-5	身近な「省エネ」を探そう	
7-6	家族みんなで、仲間と一緒に「省エネ」を	
7-7	いろいろなエネルギーを考えてみよう	西野 保
7-8	家庭の省エネ対策をしてみよう	
7-9	21世紀 省エネ号の旅 ～かしこい住まい方が地球をまもる～	川辺 恵美子
7-10	暮らしとエネルギー	西田 三千男
7-11	お宅の発電所はお元気ですか	
7-12	“太陽光発電”設置前の知っとく得情報	
7-13	家庭に必要なエネルギーの創り方教室	

その他		講師名
8-1	「コウノトリ」の復活と自然再生	中川 亜希子
8-2	絶滅危惧種(げつめつきぐしゅ)と私たち	
8-3	外来生物(がいらいせいぶつ)が及ぼす影響と対策	
8-4	持ち寄りの材料で本格料理を手づくりで	山中 賢司
8-5	厨房の創生	
8-6	ISO14001環境マネジメントシステムとは	西野 保
8-7	家庭のリスク管理“防災とエネルギー”	西田 三千男
8-8	外来生物問題の現状	竹本 雅則
8-9	生物多様性を学ぶ Pワイルド	岡本 胤継
8-10	PLTを活用した森林環境教育	
8-11	環境力オリスト 香りの環境学習	
8-12	実験を通じて環境を学ぶ GEMS	

奈良市環境学習プログラムアンケート

このたびは、奈良市環境学習プログラムにお申し込みいただきありがとうございました。
プログラムの充実を図るために、皆さまにアンケートのご協力をお願いいたします。
次のそれぞれの項目について、該当するところに○をつけてください。

実施日	平成 年 月 日()		
プログラム名	No.(-)		
貴団体名			
記入者氏名		電話番号	
参加人数	大人 名	・	子ども 名

①プログラムの長さはどうでしたか？

長い やや長い ちょうど良い やや短い 短い

ご意見があれば記入してください。

②プログラムの内容(ねらい、期待した内容かどうか)は、どうでしたか？

良い まあまあ良い ふつう あまり良くない 良くない

ご意見があれば記入してください。

③道具や言葉などは対象年齢に合っていましたか？

良い まあまあ良い ふつう あまり良くない 良くない

ご意見があれば記入してください。

④総合的に見て満足できましたか？

満足 やや満足 ふつう やや不満 不満

ご意見があれば記入してください。

⑤その他、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

⑥今後も、このようなプログラムの活用を希望されますか。

希望する 希望しない

ご協力ありがとうございました。

送り先:【奈良市環境政策課】

FAX:0742-36-5466 メール:kankyoseisaku@city.nara.lg.jp

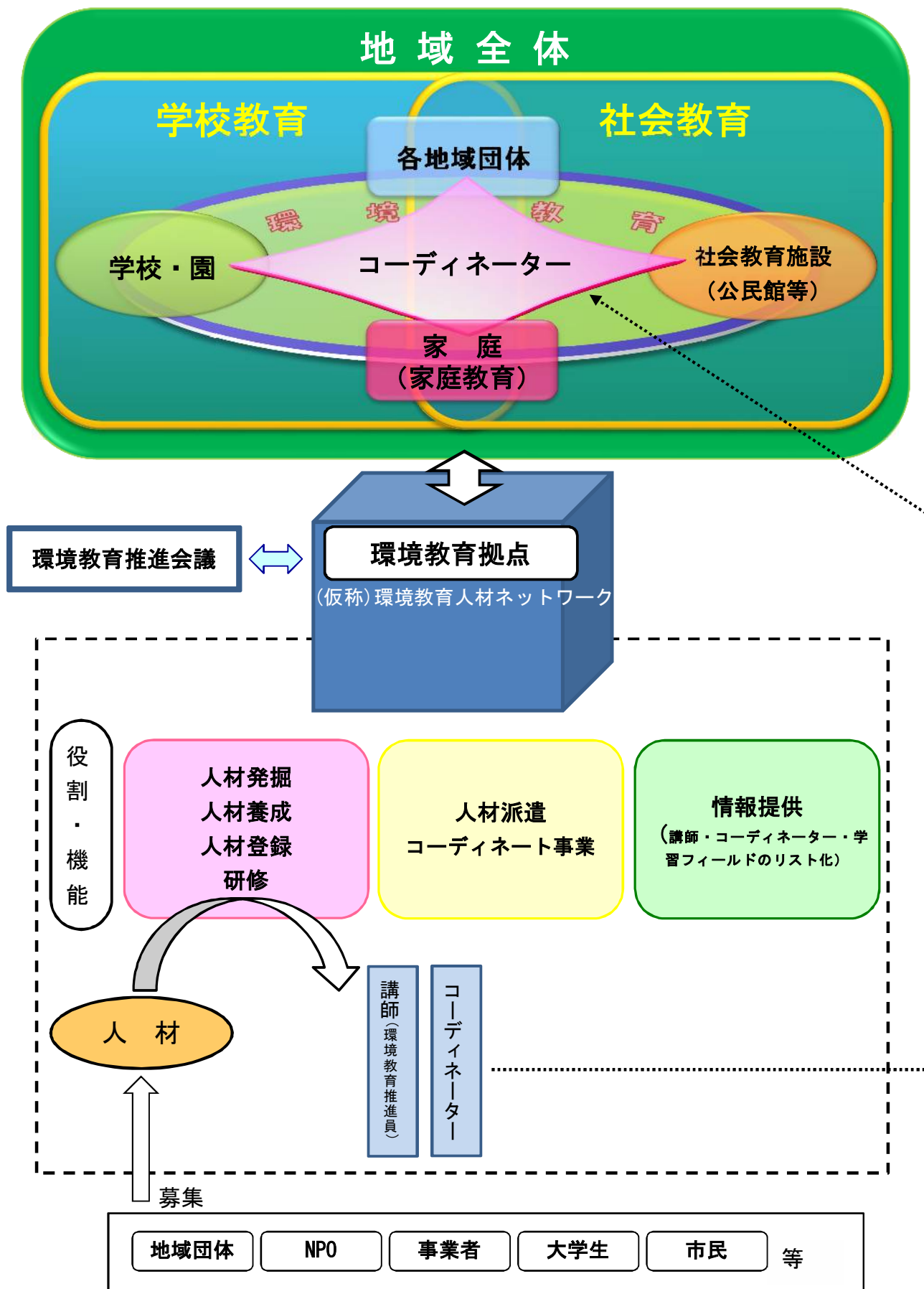
「奈良市環境学習プログラム」パンフレット構成案

資料②

1-1	【自然を守るにはー水田・小川・ため池編ー】 1すんでいる生き物を学ぶ
講師	中川 亜希子
内容	屋内または野外にて、水田・小川・ため池にすむ生き物(例:メダカ・赤とんぼ・ホタル・カエル類)の見分け方、すみか、食べ物、一生、他の生き物との関わりについて、スライドを使った解説とクイズ形式の問いかけにより、学び・考えます。 ※参加者の年齢・知識に応じアレンジ可能
対象	小学校高学年～一般
時間	1～2時間
形式	講義or観察
費用	保険料・配布資料代等の実費が必要(応相談)
備考	参加人数:屋外開催の場合は20名まで(屋内の場合は何名でも可)
<p>写真スペース プログラムの内容がイメージしやすいもの (講義やフィールドワークの風景、ものづくりなら完成品、など)</p>	

講師	
内容	
対象	
時間	
形式	
費用	
備考	
<p>写真スペース プログラムの内容がイメージしやすいもの (講義やフィールドワークの風景、ものづくりなら完成品、など)</p>	

< (仮称) 環境教育人材ネットワークの全体像 >

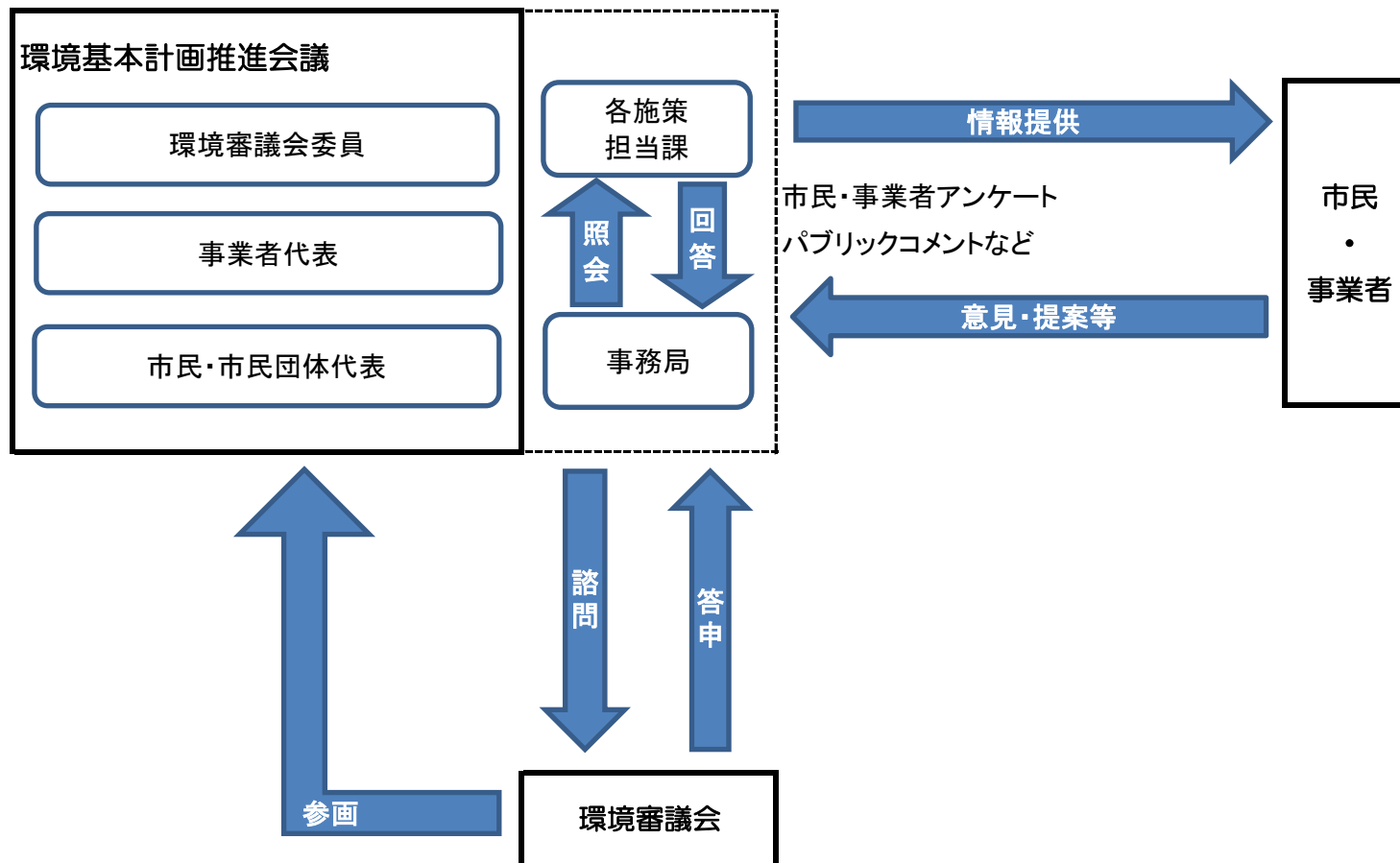


環境基本計画(改訂版)中間見直し・奈良市地球温暖化対策地域実行計画改訂スケジュール

資料④

	環境基本計画(改訂版) 中間見直し	奈良市地球温暖化対策地域実行 計画改訂	環境審議会	環境基本計画 推進会議
平成27年度 2月			・アンケート内容の確認	・見直しスケジュールの確認 ・アンケート内容の確認
3月	・見直しに伴う各課への照会 ・情報収集、事務局案作成 等 ・アンケート実施	・情報収集、事務局案作成 等		
平成28年度 4月				
5月				
6月				
7月				・事務局案に対する意見 ・アンケート結果確認 ・今後のスケジュール確認
8月	・素案の作成 ・各課への素案に対する意見集約	・素案の作成		
9月				
10月			・素案の確認・修正(諮問、審査)	
11月	・パブリックコメント実施			
12月				
1月	・パブリックコメント意見集約			・パブリックコメント結果確認
2月	・見直し案作成	・改訂案作成	・環境基本計画(見直し版)、地域 実行計画(改訂版)確定(答申)	
3月				

《環境基本計画(改訂版)中間見直し・奈良市地球温暖化対策地域実行計画改訂のイメージ》



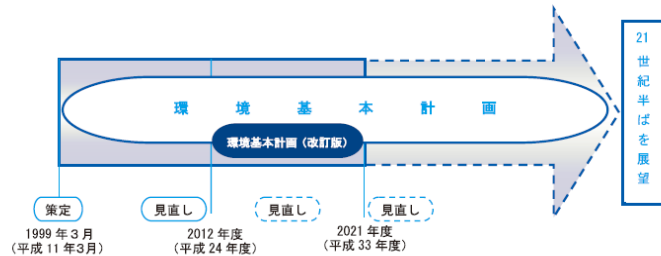
環境基本計画(改訂版)中間見直し

<見直しにあたってのポイント>

奈良市環境基本計画(改訂版)では3~5年サイクルで見直すものとしている。

1-4 計画の期間

「環境基本計画(改訂版)」の期間は、平成24年度(2012年度)から平成33年度(2021年度)までとし、3~5年サイクルで見直すこととしますが、国の環境政策の動向、社会経済情勢に変化があった場合には随時見直します。



平成28年度は、奈良市環境基本計画(改訂版)(平成24年度~平成33年度)の中間年にあたる。中間年度となる平成28年度に見直しを行う。

奈良市地球温暖化対策地域実行計画改訂

<改訂にあたってのポイント>

【奈良市地球温暖化対策地域実行計画の目標値】

基準年度:1990年度(平成2年度)【温室効果ガス排出量139万トン】

中期目標:2020年度 基準年度比△25%

長期目標:2050年度 基準年度比△80%

2012年度(平成24年度)温室効果ガス排出量:166万8千トン(+20.1%)

2013年度(平成25年度)温室効果ガス排出量:算定中

温室効果ガス削減目標について

国

2030年までに、2013年比で、
温室効果ガス排出量を26%削減

県

次期「県環境総合計画」の策定を開始

市

地球温暖化対策地域実行計画を改訂

・上位計画である総合計画後期計画(平成28年度~32年度)を環境面から総合的・体系的に推進し、環境の保全と創造に関する各分野の施策・事業の基本となるものとする。

・見直した計画は、これまでの環境基本計画(改訂版)と同様に市民・事業者・行政等のパートナーシップにより推進する。

・市民・事業者・行政等それぞれの主体の自発的な行動を促し、環境基本計画推進会議での意見交換を中心に、協働による計画見直し・改訂を行う。

・COP21(気候変動枠組条約第21回締約国会議)で、提出した国の草案や県の次期環境総合計画の動向に基づき改訂を行う。